

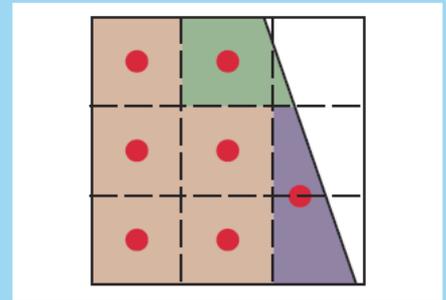
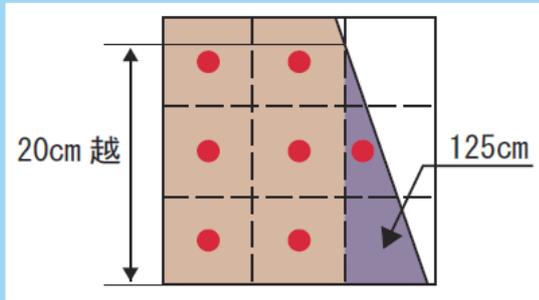
不具合事例		整理番号 C-03-005	
タイトル	区画の統合方法は合ってますか？		
工種	<input checked="" type="checkbox"/> 調査 <input type="checkbox"/> 対策	フェーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 計画 <input type="checkbox"/> 作業中
対象汚染物質	第一種特定有害物質、第二種特定有害物質、第三種特定有害物質		
土地履歴	<input checked="" type="checkbox"/> 宅地 <input checked="" type="checkbox"/> 工場跡地 <input checked="" type="checkbox"/> 特定有害物質使用工場 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
説明図	『130m ² は超えていないが・・・。』		
作業内容	調査対象地の単位区画（10m 格子）を設定		
使用機器	（特になし）		
不具合事項			
<p>客先から支給された敷地図で対象地の単位区画を設定し、その際敷地端部で 130 m²を超えない範囲で区画の統合を行った。現地で計画通り試料を採取し、区画長の実測を行った結果、統合した区画の長軸が 20m を超えてしまっていたので統合の見直しを行い、再度採取しなければならなくなった。</p>			
予防措置(計画者・監督者・作業員)			
<p>単位区画を設定する際には、『隣接する区画と合わせて 130 m²を超えない範囲内であれば、1つの区画に統合することができる。ただし、たとえ区画面積が 130 m²以下であっても区画の長軸が（区画の辺と平行な軸の最大値）が 20 m を超えるように統合することができない』¹⁾の内容を十分理解しておく。（計画者）</p>			
応急措置			
<ul style="list-style-type: none"> 新たに統合した区画において試料の再度採取を行う。（監督者） 			
その他、留意事項			
<ul style="list-style-type: none"> 調査計画を立てる際には、区画数だけを検討するのではなく、基準を超過した場合の対策方法を念頭に置き、東北端を起点とした回転も併せて、対策しやすい統合を心掛ける。 地歴調査を基にした「おそのの区分の分類」段階から対策を想定した単位区画設定も考慮する。 計画時に現地踏査を行った際、不安な場合は簡単な実測を行うか、統合せずに 1 区画とする。 			
関連法規等、出典	1) 土壤汚染対策法に基づく調査及び措置に関するガイドライン改定版 pp129-130		
キーワード	区画統合、単位区画の設定		
発生頻度	<input type="checkbox"/> 多 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 少	重大性	<input type="checkbox"/> 致命的 <input type="checkbox"/> 重大 <input checked="" type="checkbox"/> 軽微

タイトル

区画の統合方法は合ってますか？

説明図

「130㎡は超えていないが・・・」



作業内容

調査対象地の単位区画（10m 格子）を設定

指示事項

- ・単位区画を設定する際には、『隣接する区画と合わせて130㎡を超えない範囲内であれば、1つの区画に統合することができる。ただし、たとえ区画面積が130㎡以下であっても区画の長軸が（区画の辺と平行な軸の最大値）が20mを超えるように統合することができない』ことを十分理解しておく。

どんな不具合が起こりうるか？

だから私たちはこうします

本日の重点施策

ヨシ!!

サイン